

医療チーム 高校生

密着プログラム

特別協賛…日本医師会

参加者募集!

参加者へのメッセージ

大阪大学の心臓血管外科は、日本で最も重症な患者さんが集まる場所で、心臓血管外科治療の「最後の砦」となっています。懸命に命と向き合う我々と、1週間時間を共にしてもらい、外科治療の魅力、厳しさ、外科医としての誇りなどを心で感じてもらいたいと思います。考えてほしいのは「10年後、20年後に自分がどんな医師になりたいのか」。将来を具体的に想像できれば、今、何をすべきなのかが明確になるはずですよ。



澤 芳 樹 Sawa Yoshiki

大阪大学心臓血管外科教授。1980年、同大医学部卒。iPS細胞から作った心臓の筋肉のシートを重症心不全の患者に移植する臨床研究計画を進め、3月に学内審査で了承された。厚生労働省の部会で審議され、手続きが順調に進めば今年にも臨床研究が始まる。

高度先進医療に取り組む大阪大学医学部心臓血管外科が、医学部を目指す高校生を対象に「早期医療体験プログラム」を行います。夏休み中の5日間、救命の最前線に密着。外科医療に携わる厳しさとやりがいに触れて、「どんな医師になりたいのか」を考えます。



日程 下記3枠(5日間/全体で計10名程度)

1 枠	8 / 6 (月) ~ 10 (金)
2 枠	8 / 13 (月) ~ 17 (金)
3 枠	8 / 20 (月) ~ 24 (金)

※各枠とも初日は6:45集合、集合・解散時間は日によって異なります。

場所 大阪大学医学部附属病院(大阪府吹田市)

対象 読売教育ネットワークに参加している高校の2年生及び3年生。医師を強く志し、外科に関心のある生徒。地域性を鑑み、関西圏の生徒を優先します。

応募方法

応募は学校長推薦で各校1人。参加希望生徒のいる学校は、下記の必要事項を添えて読売教育ネットワーク事務局(ednet@yomiuri.com)までメールでお申込みください。

メール件名「大阪大・高校生向け医療プログラム申込」

① 学校名 ② 担当教諭名(電話番号、メールアドレスも)

③ 参加希望生徒名と学年 ④ 希望枠(第1~第3志望を明記) ⑤ 《添付》学校長の生徒推薦書

(書式自由。推薦理由、校内選抜などの有無を詳述。選抜に小論文などを課した場合は添付)

⑥ 《添付》面接シート(所定用紙をウェブサイトからダウンロードし、生徒本人が記入)

5月15日(火)必着

担当医師による面接・選考

5月26日(土) 9:00~ ※選考結果は教育ネットワーク事務局から連絡します。

参加確定校へのお願い

参加が決まった生徒は課題文の提出をお願いします。

課題 新聞から関心のある医療記事を選び、「なぜ関心があるのか」「そのテーマについての自分の考え」を800字で詳述。記事のコピーとともに事務局に送付 **6月29日(金)必着**

※下記の手続きを、事務局から案内します。

- 参加申込書、守秘義務等に関する同意書、健康状況報告書の提出
- 病院が指定する疾病の抗体検査、ワクチン接種、証明書の提出
- 指定の国内旅行傷害保険への加入

※プログラムの様子は読売新聞紙上やウェブサイト等で紹介します。取材に協力できることが参加の前提となります。

問い合わせ 読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局

☎ 03-6739-6985 (平日10:00~17:00) ✉ ednet@yomiuri.com

<http://kyoiku.yomiuri.co.jp/>



大阪大、大阪大病院への問い合わせはご遠慮ください